

## 第2章 活用編

### 1. 平常時の活用

- (1) 避難行動要支援者名簿を活用した図上訓練の取組み
- (2) 地域の防災訓練への当事者参加の取組み
- (3) 個別支援計画の充実・具体化の取組み

### 2. 災害時の活用

- (1) 風水害の場合
- (2) 地震の場合

第2章では、平常時から災害発生後までの時点ごとの、避難行動要支援者名簿の具体的な活用方法の一例について記載しています。

避難行動要支援者名簿を効果的に活用するためには、その時点にあわせた対応が必要です。

## 1. 平常時の活用

避難行動要支援者名簿を、普段から関係機関や地域の支援者等で共有し、図上訓練等で地域の支援体制を構築。あわせて、日頃の声かけや見守り、個別支援計画の具体化等にも取り組めます

### ◆ポイント

#### ○地域の避難行動要支援者を確認

年に一度は地域のどこに、どんな支援を必要とする人がいるのかを地域の支援者等（自主防災組織、自治会、民生委員・児童委員、消防団、校区社協等）で情報交換や確認

・避難行動要支援者も参加する地域の防災訓練や図上訓練等を活用

#### ○“災害時に誰（たち）が、誰を、どのように支援するか”を確認

誰（たち）が誰を、どのように情報伝達、安否確認、避難行動支援等をするのか、避難行動要支援者名簿に記載し、個別支援ができる体制を構築

・市や専門相談支援機関、消防、警察、市社協等も極力参加

※災害時には、地域の支援者等も被災するため、自治会長等関係者、民生委員・児童委員等の役職者だけで支援は困難。できるだけ多くの人で支援できる体制構築が必要

#### ○日頃から避難行動要支援者と主な支援者の間でコミュニケーションを図ることが重要

・日頃から顔の見える関係があれば、災害時の支援はスムーズ

# 登録台帳の表面

【様式2】

## 避難行動要支援者登録台帳・個別支援計画

登録申込 年 月 日 打出日 年 月 日 登録番号

校区名	校区	自治会名	自治区等	登録番号
-----	----	------	------	------

登 録 者			
フリガナ	性 別	生 年 月 日	年 齢
氏 名	男 ・ 女	年 月 日	歳
住所			
電話	固定電話： 携帯電話：	FAX：	
登録理由	世帯状況		
特記事項	<p style="color: red;">避難時には車椅子が必要 避難先には多目的トイレが必要</p>		
避難場所	避難予定の避難場所 避難所1 <span style="color: red;">水害時：〇〇小学校</span> 避難所2 <span style="color: red;">地震時：〇〇コミュニティセンター</span> 避難所3		
支援区分	未設定 低 避難情報を伝えれば、自力で避難できる 中 付き添いがあれば自力で避難できる 高 <span style="border: 1px solid red; border-radius: 50%; padding: 2px;">○</span> 車椅子、寝たきりなどで、自力での避難は困難		
位置図	<div style="border: 2px solid orange; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p><b>支援区分の枠内には、その人が必要としている 支援レベルのところに○を記入</b></p> </div>		

## 登録台帳の裏面

緊急連絡先 (家族・親族 他)		
フリガナ	続柄	電話番号
氏名		固定電話： FAX： 携帯電話：
住所		
フリガナ	続柄	電話番号
氏名		固定電話： FAX： 携帯電話：
住所		

### 地域協力者 (地域で避難行動要支援者の支援に協力できる個人・団体)

#### ①個人 (支援について同意取得済の方)

フリガナ	電話番号
氏名	固定電話： FAX： 携帯電話：
住所	
フリガナ	電話番号
氏名	固定電話： FAX： 携帯電話：
住所	

#### ②団体 (自主防災組織、自治区等)・個人 (地域で選択した支援者)

フリガナ	電話番号
氏名	固定電話： FAX： 携帯電話： E-mail：
住所	
フリガナ	電話番号
氏名	固定電話： FAX： 携帯電話： E-mail：
住所	

- ・ 避難予定の避難場所
  - ・ 支援区分
  - ・ 地域協力者
- などの個別支援計画を地域で具体化していくことで、災害時の支援につなげます。



## (1) 避難行動要支援者名簿を活用した図上訓練の取組み

○避難行動要支援者名簿の情報をあらかじめ地域の支援者で具体的に把握・共有しておくために、名簿と地域の地図を使用した図上訓練が行われています。

### 1 図上訓練とは？

支援のために地域の多様な関係者が机を囲み、避難行動要支援者の情報、避難行動要支援者ごとの支援の必要性、主な支援者、避難場所、危険箇所、避難ルートなどについて情報共有。

地図上に透明なシートを重ね、シールやマジックで表示し、決定したことを名簿に記入していく中で、共助による支援体制を構築する訓練です。

※訓練に必要な消耗品などは市で準備

※できるだけ避難行動要支援者本人やご家族の参加も促進

### 2 一般的な訓練の流れ（例）

- (1) 災害に備えて（防災講話）
- (2) 名簿を使った図上訓練
- (3) 質疑応答・意見交換

### 3 図上訓練の参加者（例）

- |             |                 |      |
|-------------|-----------------|------|
| ○校区コミュニティ組織 | ○自主防災組織         | ○自治会 |
| ○民生委員・児童委員  | ○消防団            | ○防災士 |
| ○行政等        | ○避難行動要支援者本人・家族等 |      |

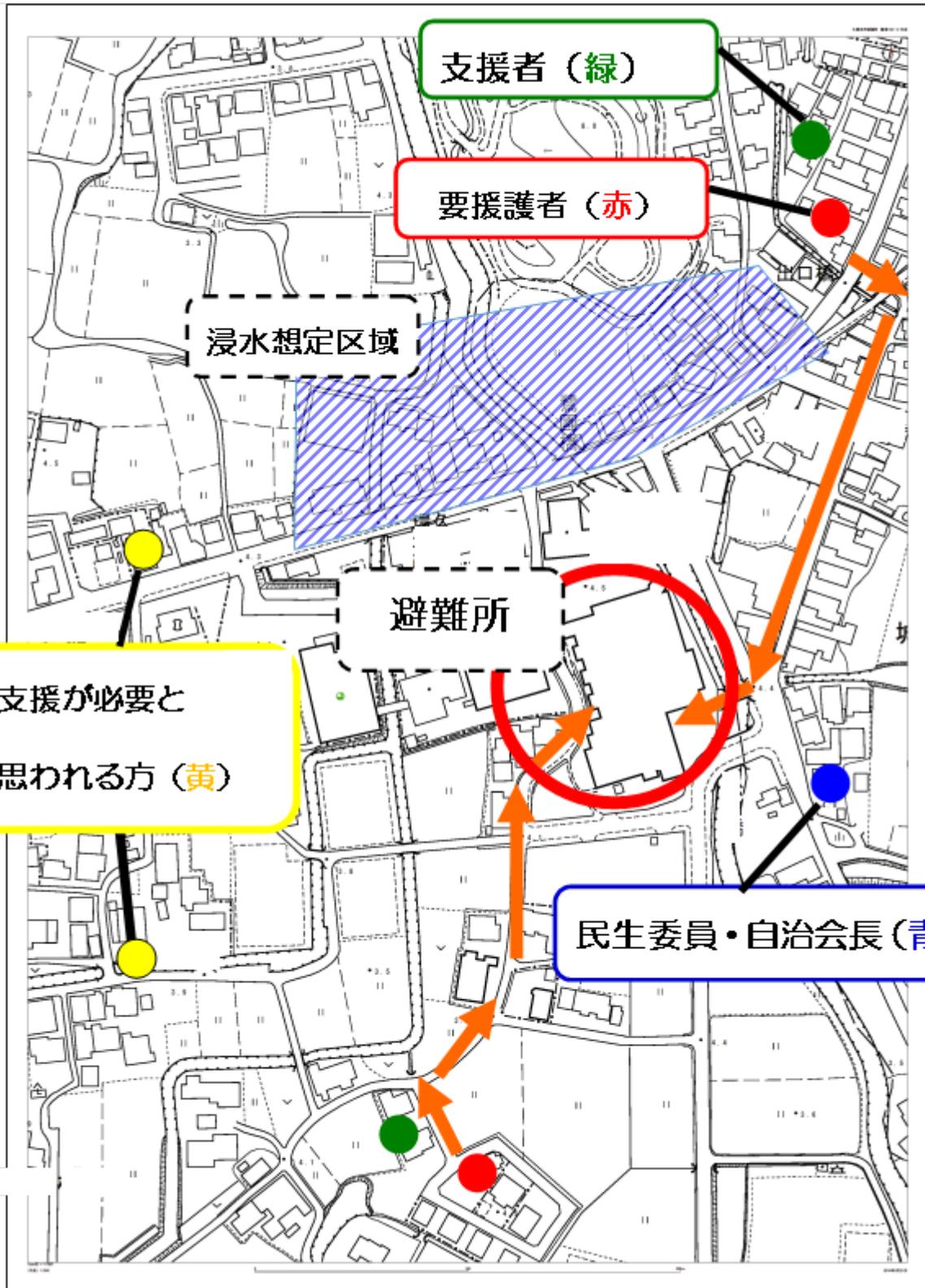
### 4 訓練申込先

久留米市健康福祉部地域福祉課 0942-30-9174

訓練風景



# ☆マップ完成イメージ☆



← : 避難経路

## (参考) 情報ごとに複層化したマップの作成イメージ

役に立つ情報も1枚のマップ上に全て記載されると見にくくなることがあります。

地図・要支援者の情報・浸水箇所や支援者などの情報ごとにシートを分けて、目的に応じて表示する情報を選べるマップを作っている地域もあります。

※資料編の見本をご参照ください。

